

## 新井薬師前・沼袋駅周辺地区のまちづくりについて

### 1 区画街路整備（3号線・4号線）の現状と課題

連続立体交差事業と併せてまちづくりの柱となる、交通広場を含む区画街路整備の本格化に伴い、沼袋駅周辺においては、拡幅が必要な商店街部分の地権者から、街路整備の加速化とともに、生活再建への適切な対応やより明確で着実な整備スケジュールの提示を求められている。また、両駅に整備する交通広場部分については、連続立体交差事業の作業ヤードとしての活用を踏まえ、施行者である東京都から連続立体交差事業の工事に支障を来すことのないよう、その取得について強く要請されており、交通広場を含む区画街路の整備が最優先の課題となっている。

### 2 区画街路整備のための執行体制の強化

課題解決のため、区画街路整備のために用地測量等必要な執行体制の拡充が急務となっている。このため、来年度における執行体制のあり方について検討しているところであるが、区民等からの要請に早期に対応するため、今年度中からの対応として、部内における配置転換を含めた執行体制の強化を図っていく。

### 3 執行体制強化のための現時点における具体的な対応

#### (1) (仮称) 沼袋四丁目周辺地区における防災まちづくりについて

区画街路第4号線の整備促進のため、地元検討組織の立ち上げを予定していた(仮称)沼袋四丁目周辺地区の防災まちづくりの検討について、区画街路第4号線の整備の進捗が一定の軌道に乗る段階まで延期する。

(仮称) 沼袋四丁目周辺地区



(2) 補助第220号線第II期区間事業認可について

区画街路第3号線の交通広場の整備促進を図るため、今年度内に予定していた補助第220号線第II期区間（早稲田通り～五中つつじ通り）約725mの事業認可取得について、概ね2年程度延期する。

補助第220号線第II期区間

